

記

録

自
明治
二十九年
七月

日

在韓國村松忠雄外一名ヨリ在本邦福井友一寇同國
大院君暗殺計画ニ關スル書翰發送一件

門
類
項
目
号

自
明治
二十九年
七月

日

在韓國村松忠雄外一名ヨリ在本邦
福井友一寇同國大院君暗殺計画
ニ關スル書翰發送一件

第

卷

REEL No. 1-0064

0304

明治二十八年十月

戦後對
韓始末

在朝鮮村松忠雄外一名ヨリ其友人へ
不徳ノ書面ヲ贈リタル件

外務省

MT

11214 00001

REEL No. 1-0064

0305

秘

官

中田

警保局長

愛媛縣知事

十一月七日 右三時二十五分發

在朝鮮村。松田ダダ雄（朝鮮新報記者ニシテ本年九月渡航）坂本義盛（全上）ハ本月三日郷里宇和島ノ友人福井友一、書面ヲ贈リ（前畧小生等王妃ノ暗殺セラレタルニ満足セス進ンテ今一、害物タル大院君ノ頭上ニ日本刀ノ切レ味ヲ試ミスレテ止ムヘケンヤ小生等幸セイワヘニ未タ退韓ノ命ヲ受ケヌ天我等ニ與フルニ一世ノ功名ヲ以テセリ時機ヲ測リテ事ヲ舉ケンハ此時ナリト切カニ同志相ト謀リ云々）ト云ヘリ右ハ徒ラニ大言壯語實際ノ希圖ナキモノトモ存スレハ御注意ノ為メ報告ス委細郵便ニ付ス

内務省

MT

11214 00062

在月分及心載、在朝
鮮、村忠雄等、福井
友一、心穩、書田、贈、先件
并別地、實、自、愛、媛、野
知、等、一、報、告、有、之、百
及、心、田、中、義、之、心、成、心

MT 11214 00003

吉吉

不村白影保信長

急外務省長

秘

甲 秘 第 四 二 九 号

在朝鮮村松忠雄及段本義守兩人カ不穩ノ企
圖アルコトニ付テハ過刻電報ヲ以テ不取敢及報
告是れ其大旨面寫及中人等經歷左ニ記載
付ヨ参考 矣

兩人カ本月三日午時北宇和島所ノ友人
福井友市(元宇和島新聞記者)ニ寄セタル生翰
ノ寫左ノ如シ

向寒ノ候兄幸ニ壯健ナル由欣賀々々小生等モ
無事ナリ先月上旬朝鮮事變ノ起リシ以來東
洋ノ風雲ニ異状ヲ呈シ露國トノ開戦モ必ス近
キニアラン異境ニ在テ事ヲ為サンハ將サニ此機ヲ
失フハカラス我大日本ノ為ニ一ノ障害物タル王妃ハ

内務省

皇太后氏ノ書生已ニ之ヲ暗殺セシ小生等此事變
ヲ聞キ手ノ舞ヒ足ノ踏ム処ヲ知ラス快ト叫ビテ
萬歳ヲ三唱セリ是カ為メ露國ハ目下大日本ノ
戦闘力微弱ナルニ乘シ事ヲ奉ケント及脅スル
意アレハ彼レ露國何程ノ事カアラン小生等王
妃ノ暗殺セラレタルヲ以テ滿是セス一洲ヲ取ルモ誅
セラレハ洲ヲ取ルモ誅セラレハ一ノミ進テ今一ノ
害物タル大院君ノ頭上ニ日本刀ノ切味ヲ試ミス
シテ止ムハケンヤ小生等幸ニ未タ退韓ノ命ヲ受
ケス天我等ニ与フルニ一生ノ功名ヲ以テセリ時機ヲ
圖リテ事ヲ奉ケンハ此時ナルハシト切ニ同志ノ洪
士ト相謀ル処アリ云々(以下省略)

又兩人渡韓ノ目的ハ左ノ如シ

MT 11214 00005

MT 11214 00004

村松忠雄ハ本年九月実兄青山好惠(朝鮮新報
 記共)ノ招キニヨリ全新聞事業ニ従事セシ目的
 ニテ渡韓
 阪本義守ハ在朝鮮第一國立銀行支店長西脇
 長太郎(宇和島人)ニ頼リ職業ヲ求メシカ爲メ本
 年九月渡韓セシモノニシテ渡韓後朝鮮新報記
 考トナリシモノナラン
 又両人性質品行行政党ノ関係等左ノ如シ
 村松忠雄
 一性質温和伶俐 一品行稍々良
 一政党ノ関係 中立派ノ一人ニシテ明治三十七年八月衆
 議院議員総選挙ノ際末廣重恭ノ爲メ選挙區
 内ニ奔走シ全人ノ爲メニハ運動ノ勞ヲ辭セサル
 内務省
 モノナリ
 一備考 前科ナク又保安條例豫戒令等ノ執行
 ノ受ケタルコトナシ
 坂本義守
 一性質 温和淳良 一品行 方正
 一政党ノ関係 従来自由主義者ノ機關タル宇和
 島新聞ノ採訪ニ従事シ時々全主義者中重モ
 ナル者ニ願使セラルコトアルモ獨立政事上ニ奔
 走セシコトナシ
 一備考 前科ナク保安條例豫戒令等ノ執行
 ノ受ケタルコトナシ
 右ノ如ク兩人従来ノ經歷等ニ徴スレハ前記書
 面ノ企圖ノ如キ固ヨリ一時ノ大言壯語ニ過キスト

MT

11214 00007

MT

11214 00006

察セラレ彼へ昔去月來朝鮮ノ事變ハ人心ヲ動
揺スルコト少カラサルヲ以テ或ハ右ノ刺激ヲ受ケテ
斯ル派奉ヲナスナキヲ計リ難キニ付為シ注意為
及報告候也

明治廿八年十一月七日

愛媛縣知事小牧昌業

警備局長小野田元瀨殿

内務省

MT

11214

00008

次官

閣了

第三〇號

二六

明治廿八年十一月九日起草
同廿八年十一月十二日發遣

通商局



主任

政務局長



京外務次官

在京城

内務省

在

橋口領事宛

(各通)

朝鮮國在丙村松忠雄外一名ヨリ具郷
里友人へ送りタル書面、趣ニ別紙之通

外務省

愛媛縣知事ヨリ警保局長へ電報有

之形、趣ニ別紙之通、為申付也

淨書 整理

MT

11214

00010

MT

11214

00009

明治廿八年十一月十三日 起草 壇
廿八年十一月十三日 發遣

通商局

主任

淨書 校正 淨

機密

外務次官原敬

附錄三一
附錄二七

一等子爵内田宣徳殿
一等子爵橋本武揚殿

為目

朝鮮國在田村松忠雄外名其以里友人
一送其書面ノ英ニ関シ 愛媛縣知事ヲ以テ

外務

保局長、宛テ其電報ヲ本月十三日附松密送
才三〇号ノシテ及ク其有テ其右ニ関シ 詳報
到着、越シテ其ノ局長ヲ附有テ其力以テ
右官及ク其有テ其殿申進也

別紙

中野田局長ヲ奉翰附屬甲抄五四二九号ニテ

MT

11214 00012

MT

11214 00011

秘

警保局長

愛媛縣知事

三月十四日午後一時五十七分發

朝鮮在留村松忠雄藥師寺治郎外一名
日本野守和島ノ知巳日本ノ為將來障言物
名大院君ヲ暗殺セント日夜心ヲ挫キ時極ノ窮
ヒテアルモ事變後壯士ノ取締嚴シク何時
韓ヲ命セスルヤモ知レス云云トノ書面ヲ送リシヨシ
委細書面

内務省

MT

11214 00013

REEL No. 1-0064

03 13

電報

明治 年 月 日 起草
同 年 月 日 發遣

三印

主任



電信案

電送第九六號
明治二十五年三月八日

京城

内田領事

西園寺大臣

其地在甬ノ村松忠雄藥師寺チロウ外亭名
ヨリ愛姫縣宇和島ノ知巴へ日本ノ為メ將來
ノ障害物タル大院君ヲ暗殺セシト日夜心ヲ碎
外務省

キ時機ヲ窺ヒツアルモ事変后壯士ノ取締嚴
重ナレハ何時退韓ヲ命セラルヤモ知レズ云々トノ
書面ヲ送り免由ナリ就テハ事實ハ恣ニ探リ
ノ上少シニテモ其形跡アルニ於テハ直ニ退
韓ヲ命
スレ

MT 11214 00015

MT 11214 00014

五

外務省

電受第一三三〇號 (明治二十八年三月九日午後二時五十分着)

西園寺外務大臣代理

仁川 橋口領事

當地在留初松坂本茶師寺三人、
 動別之怪ハキニ屬ナキニ付キ便宜ノ處
 分ニ依リ享城ニ入ル事ヲ禁シ確實ナル
 者ニ保証セシメタリ 猶ホハ
 書面ニ付キ疑ヒアリ急便ニテ現物
 田附ヲ乞フ

MT

11214 00017

外務省

電受第一三三三號 (明治二十八年三月十六日午後一時三十分着)

西園寺大臣

好田領事

只今電報、三名ハ皆仁川在留中ノ者ナ
 ルニ依リ其前調並ニ處分方ハ直チニ電報ヲ
 以テ橋口領事ハ申送り置キタリ

MT

11214 00016

急

送第三五號

明治二十八年十二月二十日起草之凡次部
同 八年 八月 日發遣

通商局長

主任

親展

内務省警保局長小野田元憲殿

外務省通商局長藤井三郎

日裏に愛媛縣及事ヨリ報告有之族在朝
鮮国村松忠雄故本義守及藥師寺某舉

外務省

數に百テハ別ニ怪ムヘキ屬無シラ以テ便宜
ノ處分ニ依リ京城ニ入ルコトヲ禁シ確實ナル者
ニ保証為致タルモ蒙合入ホヨリ郷里ノ友人
宛發送シタル書面ニ自疑ニ有之族ニ付現物
急便ニテ送自相成度旨本月十九日付電
報ラハテ在仁川驛ロ一才領事ヨリ申越族
ニ付本令縣及事ノ御照会ノ上至急回付方
可達御取計相成度此段申進之度也

淨書
原尾
治

MT 11214 00019

MT 11214 00018

保大令二月二十日接書

お明書様にお事

り候事由内報

及し諸事申上

り候事由内報

書

上

文

御書

MT

11214 00021

MT

11214 00020

秘

秘

5

甲秘第五二三号

朝鮮国在留村松忠雄外名ノ書翰ノ義ニ付テ八月
七日甲秘第四二九號ヲ以テ及報告受候処本月九日前
記村松忠雄及某師寺知縣中村某(何トモ朝鮮在留人)ヨ
リ本縣守和島ノ知人(別紙右箇ノ寄セリト云右ハ前報生)
通リ一時ノ大言壯語ニ止ルヘシト察セシ矣源共時并極少何
カ暴舉ヲ考スヤモ難計ニ付右及御報告ス

明治廿八年十二月十四日

愛媛縣知事小牧昌業

發言局長小野田之照殿

内務省

MT 11214 00022

REEL No. 1-0064

03 19

寫

当地に大事件の湧出する東海堂の根源地有之矣其も隨
て愉快なる事も多し新聞紙上も皆々かく報解の内々も
は随々驚くべき国際的動向を起し由敷き大事件を多
の命脈に向ふ五十年前の星霜を傳つた可憐なる東魚の腹
にされば西島の餌たるく一月下国政に大院君の手中に
あるもの、かく彼れ老件なり水ともまた朽ち果てる事
なり一彼が餘年も最早前を左まきまき日ありあらざるに彼の
王妃の天刑に既と暗殺せられ我が日本の為と滅に慶賀すべきもの
なり然れどもまた一の障物物たる彼の大院君の頑固親都
を我日本刀の下に倒されば飽き足らず生等一身の地
つて我国の為めに彼を暗殺し聊か酬る処ありんと日人心を
卒の時穢を定規ひた美然る事予夏後志士の手締ぬる

内務省

嚴重なりて生等汝を切害するものと認め居り、此等の
証言時時あきろる事、就ては何時退轉を命ぜらるや
ならん、戦い胸々の有様、さうして、さうして、さうして、
みたく退轉を命ぜらる、ことあらば此上も、退轉なるを
て生等数石の主動者、亦多息処、秘密を、一方略を、
と、四、及び、また、内、機、執、せ、さ、る、の、露、聲、一、言、退、轉、の、命、下、り
て、ハ、ま、ま、志、を、達、す、る、能、ず、就、て、ハ、最、早、に、命、を、受、け、る、に、決、心、せ、り
是、秘密中の秘密たるもの、み、な、る、事、向、口、外、に、堅、く、林、玉、物、なり
國、は、ま、た、事、子、也、一、母、三、兄、の、言、外、に、驚、く、事、を、今、目、に、見
る、か、如、し、想、は、何、と、な、く、煩、悩、の、西、韃、緋、親、子、の、情、足、力、の
情、の、過、り、さ、る、を、痛、む、の、み、然、れ、も、一、國、の、重、き、に、答、
せ、一、云、一

MT

11214 00024

MT

11214 00023

廿九日 第一屆 陸軍部

陸軍部



秘
号
外

在朝鮮國村於外二名ヨリ知里ノ友人ニ送
リテ其書面ノ原書廻送方海申誠ニ秘ニ依リ
其時空暇有テ及四人會々ニ処分般ニ
申シ通リ回テ有テ其旨一通及テ
付テ系太クテ其旨及テ回テ其

以テ又モ一ノ旨

陸軍部 陸軍部 陸軍部



通高島省長森井三郎様

内務省

MT

11214 00025

寫

甲辰年五月九日

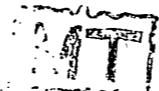
本月廿一日電報ヲ以テ在朝鮮國村松外ニ名アリ御
里ノ友人ニ送付セシメ同ノ事ヲ入子ノ件ニ付内照會
之趣ヲ承知ニ入子方計ナキ事ナ件ニ因ヨリ容
易ナラサル事ニシテ秘密口外ヲ禁シタルモノト見入
該系生ハ受信人ニ於テ爾後火中ニ投シ燒失シタ
ル點別紙受信人及後考習生復生狀ノ通ニテ案
右也了也相成事也及同ノ事也

明治廿八年十二月廿七日

大正陸軍省小牧官業

野村保馬長小禮回元照會

内務省



11214 00026

受信人偵察簡を簡し寫

南無返り其、各州也遊遊に相成り初定て由
被方此中と其者、承り其好に到る其好
合とて此常此之氣も其之其由欣存其多
其者、其心強て少免に併し申成遠國某兄
少其此其管中入用此其中誠に相成り其
以重大此中にして其秘密、其兄と小生此
誰に其る其に其者、殊に他、漏洩此危候
少其此其標此其氣達も少其其其其命此
其口火中此、其意此其何其其其其其
其其、概略、記勝此其其其其其其其其
早速其の上其其其其其其其其其其其
其之其其其其其其其其其其其其其其

内務省

以政事

十二月廿二日

福井生

大演其兄

玉其其

MT 11214 00028

MT 11214 00027

明治二十九年一月八日
同廿九年一月九日
起草
九日發遣
原守

通商局長
主任

海軍省
原

機密

領事館事務代理萩原守一殿

外務次官原教

其地在面愛媛縣村松忠雄外名、奉勅
ニ付テ人別ニ怪ムヘキニ慮ヘテハテ便宜ノ重分
外務省

ニ依リ京城ニ入ルコトヲ禁止シ確実ナル者ニ保証
為致タルモ尙ホ全入り郷里ノ友人、宛奔送シ
タル書面ニ付疑ヒ有之候ニ付現物急使ラ

ハテ送自相成度旨昨年十二月十九日附電
報フルテ御申裁之趣
外務省

リ右書面ノ原書回送方愛媛縣知事ノ及照
念タル處若シ他見ラ禁シタルモノト見ノ受信人ニ
於テ燒棄シタル趣
外務省

MT 11214 00030

MT 11214 00029

侯 題 フルテ受信人及領者同往復書類
 写差越侯就テ右書類字一括為御参
 考及御送自侯此段回答申進侯也
 (別紙ハ警保局長兼翰秘辨外附屬
 受信人領者同書簡并甲秘第五二三号
 附屬書面ノ字ナリ)

外務省

MT

11214 00031

REEL No. 1-0064

0325

次官

媛松葉八号の由

客年三月二十日親展送芽五三三ヲス
 在朝鮮國村松皮維ヲ郷里友人ハ宛書
 送シテ書面ノ原書田付方ハ照會依リ
 知事ハ照會之上本年一月二十日付シテ受
 信人偵者向ノ往復書信ヲ寫及シ差廻
 此処該件ニ付今般別紙ニ通知
 申故右ノ事實如何ニ可有之歟元
 來密偵上得ル事柄ハ最モ秘密ヲ保シテ
 其其短奥ヲ業々能ク且一朝密偵者元
 コトシ着破セシニ於テハ信ヲ失シ家ニ社
 交ヲ絶タルノ悲境ニ陥リ其例往々有之
 付密偵者ニ對シテハ當路者ニ於テモ十分ニ
 シ任覆セリヲ得ス就ニ其由果多事
 莫ナルヤ其顛末ハ又如何ニシテ相
 及シ歟及シ照會
 明治廿九年二月十七日
 教書長小野田
 自當長長尾三郎
 准テ別紙ニ由卷ニ條ニ及シ度相
 及シ

内務省

MT 11214 00033

MT 11214 00032

秘

甲 第 五 三 號

保 護 文 第 一 二 四 五 號

癸卯年三月廿七日甲秘第五百四十九号ヲ以テ及
報先置キタル在朝鮮村松忠雄一件ニ付福井
ヨリ大濱ニ宛タル書面返付ノ件昨夜不取
敢電報後慮及ニ該事件ニ付村松等ノ知ル
所トナリ其結果密偵者大濱ノ身上ニ及ヒ該層
面ノ返付ヲ煩テ已リ湯サレニ立テリタル次第
ニ及ニ其事實實カノ如シ

癸卯三月廿七日、事ナシ在朝鮮村松忠雄ヨリ
其友人福井友市ニ宛テ左ノ文意ニテ書翰ヲ送
レリ

自分及ヒ坂本等ニ先般仁川ノ領事ヨリ召喚シ
受ケ見ヨ領事ヨリ自分等ニ對シ汝ハ大院君ヲ

愛媛縣

暗殺スルトノ陰謀ヲ企テ居ル下其竹節ノ探知
スル所トナリタル以テ直々ニ退轉シ余ニト依テ
自分等大ニ驚愕シ領事ニ答ルニ汝レハ否
ラサル下以テ且ハ此事タル如何カ理由ニ依
テ探知セラレタルカ定メテ確証ノ見事ナラシ
依テ其確証ヲ示サレカシト及問セシニ應リ取
ル前キ者ヨリ余セラレ其後兩三日ヲ経テ再ヒ領
事ニ召喚セラレ此事ニ就テハ郷里ノ友人福井
ナル者ニ汝等カ甚企圖アル下リ通知シ
福井ヨリ大濱ニ宛テ通シ大濱カ之レリ愛
媛縣廳ニ密告シタルモノニシテ其書面ニ福井
ニ於テ大津シタルモ大津ノ事ヲ記シタル書面ヨリ
福井ヨリ大濱ニ差出シタルハ則チ此書面ナリト

MT

11214 00035

MT

11214 00034

領事ヨリ讀聞セラレ之レ則チ確實ナル証據ナリ
ト云ニ於テ自分等益益猛キ高モ斯ル企圖アル
モシテラズ自分等カ渡韓シタルハ飽迄モ國家ノ
利益ヲ計リ國家ニ忠勤ヲ盡スモノニメテモ國家
ツケハスルノ念慮ナキナリ辨疏セシニ退去ハ免カレタ
ルモ京城ニ入ルナリ禁セラレタリ此事タル兄一人之レリ
知ル迄ニテ斯ル大事ヲ漏洩スル筈ナカリシト信シ
タリシニ領事ニ此大事ノ漏洩シタルハ想フニ君
カ大瀆ニ漏洩セシメタルモト認メカレリ得又實ニ君
ハ平素ヨリ新金ノ友ト信シタルカ故ニ斯ル大事ヲ
モ打明ケタルニ何ッ計ラシ事ノ實ニ至ラントハ君ハ
實ニ自分等ヲ死地ニ陥ルモノヲ將來大ニ覺悟ス
ル所トアルコトヲ件々返報アリタシ

愛媛縣

第一 坂書翰ハ果シテ大瀆ニ示レタルヤ否

第二 該書翰ヲ大瀆ヨリ請ホスルニ當リテソシ

中ニ其事實ヲ明記セシ書面ヲ大瀆ニ送
付セシヤ否ヤ

坂書面福井ノ語ニ違フルヤ福井ハ大ニ慮シ直
キ大瀆ヲ訪問シ談ルニ前條ノ事實ヲ以テシ君ハ
果シテ之レヲ懸慮ニ密告シタルヤト詰問ツ受ケ
テ云ヒテ密偵大瀆ハ大ニ若慮シ福井ニ向テハ疎
シテ自分ヨリ密告者等ハ因ヨリナシ然レモ今ニシテ之
トシ思ハハ君ニ承知ノ通り自分ハ實ニ未嘗ト出入
瀬繁ナルカ故ニ或ヒハ他ノ耳目ニ觸レタルヲモアラン
ナレト 自分ヨリ之レヲ懸慮ニ密告スルカ如キ事
者腐敗ノ行爲アリシヤ況シヤ自分ハ他ニ漏洩ス

MT

11214 00037

MT

11214 00036

ル下リ恐レ君之向テ該書面、火中リ勸告シタル位
ナリト辨疏レ籍ヤ福井ノ疑感ハ解キタルモ猶ホ福
井ノ大瀆ニ對シ然ラハ先日自分ヨリ君ニ返付ノ
書面(昨夜電報ニテ回付リ與合セシム)ハ君ノ手許
ニ在ルヤト大瀆ハ之レ多ク在ルヤト在ルヤト書
面ハ別ニ火中モセズ他ニ送リモセサレハ必ラス在ルヤト
又(身レニ福井ハ然ラハ君ノ書面ハ自分ノ手許ニ返
却シ是レトノ請求ヲ度ケルヲ以テ何レ序ニ捜査シ
置キテ返却スルヲ望ムナリ)

然レニ君ノ書面ハ大瀆ノ手ニ在ルニアラステ原書ハ
已ニ進道中ナカ故ニ大瀆ノ時、逃歸ヲ以テ福井
ニ對シテハ其場ニ倚能ク濟シタルモ該書面ヲ福井
ニ返付セズハ忽チ茲ニ一大困難ノ事情アルニ
シカニモナリ

愛媛縣

トモ將未進退上如何トモスル不能ニ付該書面ノ
原書ヲ返付シヨシト字知島發案署長ニ請求
シカニモナリ

右ノ事情ニモ已カリ得カレ難ク昨夜不取敢電報ヲ
以テ及請求スル改テ付内報者迄及内報者國事
密偵ニ係ル事件、前述ノ如ク直々ニ有之儘其本人ノ相
合リ後様ニテ將來是等ノ取扱甚困難ニ有之小官
向後ノ心遣ハモ相成度ニ付君ノ願未ハ貴官ニ於テ其
向取取調ノ上内報者相成度此段及依頼多也

明治廿九年二月八日

愛媛縣知事小牧昌共



發條局長小野田元一殿

MT 11214 00039

MT 11214 00038

次官

第一一第送

明治二十九年二月十一日起算
同 廿九年 二月 廿二日發遣

通商局長

主任

清原 啓

機密

領事館事務代理萩原守一殿

外務次官原教

去月九日附親展送第一号ヲ以テ其地在面愛
媛縣村松忠雄外ニ名ヨリ郷里ニ及入、宛發送
外務省

コナル書翰完全受信ノ頃者同、書簡写及御
送付置度也貴官村松ヲ召喚、上該書翰
ヲ讀マセヒタル件ニ關シ愛媛縣知事ヨリ別紙
甲号ニ通照会ナリ之度知ラレテ今般内務省
警保局長ヨリ右ノ事實ニ顛末ヲ取調テ別紙
乙号ニ通申裁度ナリ件果シテ愛媛縣知事ヨリ
照会ノ通ナルニ於テハ密偵者、迷惑ハ不及申秘察
探偵上ノ一大障害ト相成甚々不都合ニ付其事

MT 11214 00041

MT 11214 00040

REEL No. 1-0064

0330

実業顛末を詳細に御回報相成度此段
申進度也

(別紙に致言得馬長果翰後紙八号の内全
附属甲密号五二号之写し)

外務省

MT 11214 00042

REEL No. 1-0064

0331

廿九年四月二日接受 主務通商局

秘密第十一号

村招忠雄ニ係ハル密偵ニ関スル件回報

當地在留愛媛縣民村招忠雄外二名ヨリ郷里人ニ宛
發送シタル書翰記臆書并受信人偵者間、往復書簡
寫御送附相成矣處右等書翰ヲ本官ヨリ該三名ノ者
ニ讀聞カセタル趣ヲ以テ愛媛縣知事ヨリ内務省警保
局長ヲ經テ右頭未取調方申越矣ニ付右事実并頭未
詳細回報可致旨客月二十二日附機密送第二号ヲ以テ
御申越、趣了承仍テ別紙一件ニ関スル處分、頭未并
ニ今後ノ處分及御回報矣ニ付警保局長ニ可然御移牒
相成矣將夕本件ハ重要ナル結果ヲ生ス可キ性質ノモノ
ナルニ事実殆ニト曖昧ニ屬シ處分方頗ル困難致居矣
ニ付別紙回報申取調上生シタル疑義并ニ今後、處分ト
題スル項ニ関シテハ特ニ其向ニ於テ速ニ精確ナル取調ヲ開
始セウシ其結果更ニ本官ニ回報被及度是亦同局長ニ以
然御申移相成度以段申進矣敬具

明治二十九年三月二十三日

在仁川

領事館事務代理領事官補萩原守一



外務次官厚敬啟

追而別紙回報ニ附シタル証憑六通ハ取調ノ精確ヲ要ス
ル為ノ原本及御送付矣得共本人ニ預リ証ヲ共ニ置
言ニ付其向ニ御轉送相成取調ノ用ニ供セラレタル上ハ回
報之旨御返付相成矣掾致度此段申添矣也

三五三號



MT 11214 00044

MT 11214 00043

村柘忠雄等嫌疑事件ニ付當館ニ於テ
採リタル處分、顛末ニ并ニ向後ノ處分

第一處分ノ顛末、村柘忠雄坂本義守、兩名大院君暗殺ヲ
企圖セルノ嫌疑アル事ハ、客年十一月七日、發愛媛縣知
事ヨリ警保局長宛電報寫ラ附シタル十一月十二日附
機密送第ニ六號并ニ村柘等ヨリ御里友人ニ送りタル
書翰ノ寫ヲ附シタル十一月十四日附機密送第ニ七號
ヲ以テ次官ヨリ故橋口領事ニ死タル公信ニ依リテ知
ラレタリ當職故橋口領事ハ退韓ヲ決行スルヲニ重キ
ヲ置ケル故ニ右警保局長ヨリ移牒セル事莫ハ村柘等
ニ對シ退韓ヲ行フ十分ノ証憑トナサズ再時只警部ニ
命シテ彼等ノ奉動ヲ精細ニ探知セシメノタリ爾來一閱
月ノ同時々警部ノ報告スル所ニ依レハ村柘ハ朝鮮新

在朝鮮國仁川港

日本領事館

報社ノ採訪者兼内地新聞通信員トシテ坂本ハ精米商、丁
惟トシテ(愛媛縣知事ノ報告中坂本ヲ以テ朝鮮新報記
者トスルハ只臆測ニ止マル)專心其業務ニ従事シ其ノ体
軀ノ羸弱年齢ノ弱少トニ依リ之ヲ判スルモ斯ル陰謀ヲ
企テ得ル者ニアラサル如キヲ以テ所謂親友ニ寄セテ
ル書面ハ愛媛縣知事ノ意見ノ如ク徒ニ大言壯語ヲ弄
シタルモノト認メ退韓ヲ命スルヲ勿リシ然ルニ十二
月十六日ニ至リ京城内田領事ヨリ電報ヲ以テ外務大
臣ヨリ村柘忠雄藥師寺知藏外一名ノ者大院君暗殺ノ
陰謀アル旨愛媛縣知事ニ於テ探知セルニ付彼等ノ奉
動ヲ偵察シテ其形迹ニヨリ退韓ヲ命スヘシト電報ヲ
リタレハ右ノ者共ハ仁川港在留ニ付此地ニ於テ相當
處分アリタキ旨ヲ申越セリ

MT

11214 00046

MT

11214 00045

茲ニ於テ故橋口領事ハ稍々彼等ノ嫌疑ニ重キテ置キ
猶ホ一層^カ警部ノ偵察ニ依頼シテ事ヲ未燃ニ防カ能ハ
ナルヲ憂ヒ越テ十七日村柘坂本薬師寺(薬師寺ノ名
ハ只内田領事ヨリノ電報ニヨリ以件ノ関係者タルニ
至レリ同人ハ朝鮮新報會計掛ニシテ他ノ二名ト等シ
ク愛媛縣人ナリ)ヲ召喚シテ柘下書記生ヲシテ之ヲ取
調ヘシノ其結果旨ヲ諭シテ各自ニ帰朝スルヲ勸告
シタリシカ(退朝^韓ノ命ヲ行フタルニアラズ又彼等三名ノ
者ハ嫌疑ノ事實余人ノ捏造ニ出ラタル旨ヲ説明シ同
時ニ當港有力ナル紳商ヲシテ冤ヲ辨疏セシメタリ故
橋口領事ハ此際ニ當リモ猶ホ俄ニ退韓ノ命ヲ下カス
則テ本官同領事ノ病床ニ就キテ意ヲ承ケ彼等ノ京
城ニ入ルヲ嚴禁シ猶ホ確實ナル者ヲシテ之ヲ保証セシ

在朝鮮國仁川港

日本領事館

メタリ蓋シ嫌疑ノ陰謀タルヤ目的人自ラ仁川港ニ来ル
ニアラサルヨリハ京城ニ入ルニアラズニハ之ヲ決行ス
ル能ハカレハナリ而シテ當港居留民ハ元来魚届ニテ
京城ニ入ルヲ禁セラレタルニモ係ハラス猶ホ彼等ヲシ
テ特別ノ誓約ヲナサシメ兼テ信披ス可キ保証人ヲ
立ラシメタルハ故領事が慎重ヲ守レル^結縲果ナリ右
便宜處分ヲ行フ為メ嫌疑者ヲ取調フルニ當リ彼等
三名ノ者ハ御友ニ向ケテ嫌疑ヲ惹起ス可キ書面ヲ
茂送シタルヲ無^キ旨ヲ誓言シタリ仍テ本官ハ故領
事ノ意ヲ承ケテ右處分ヲ外務大臣ニ電報ニ同時
ニ嫌疑ノ基因タル村柘ヨリ福井ニ送りタル書面現
物送付ヲ方ヲ請求シタリ之レ第一ニ愛媛縣知事
ノ報告ニテハ該書面ハ村柘及阪本ヨリトノミ

MT

11214 00048

MT

11214 00047

リテ彼等ノ連名ヲ以テセルヤ又各別ニ書送セルヤ又
 薬師寺モ亦之ニ関係セルヤ否漠トシテ明カナラヌ茅
 ニニ未夕現物ヲ見ケル以上ハ捏造ニ係ル事實ニ依リ
 不辜ヲ罰スルノ恐アリ實ニ警察使用ノ密偵者等ハ
 自家平昔受クル所ノ給典ニ對シテ効績ナキヲ耻ケ
 テ時ニ不実ノ事ヲ告ケテ一時ヲ眩惑スルノ例ナキニ
 アラワレハナリ。第三ニ現物ニ依リテ果シテ彼等ノ
 肉筆ナルヤ否ヤヲ判定スルノ容易ナル可ク從テ彼等
 ノ偽誓ヲ嚴罰スルヲ得ル等ノ理由ニ基キタルモ
 ノナリ
 以上ハ則々故摺口領事カ此件ニ對シテ採レル處分ニ
 シテ前後ノ関係ヲ明晰ニセンカ為メニ本官カ直接間
 接ニ干典ニシタル事實ヲ蒐録セル所ナリ
 在朝鮮國仁川港 日本領事館
 右大臣宛ニ電稟ノ回答トシテ本年ニ入り一月九日附親
 展送第一号ヲ以テ受信人福井ト偵者大濱間ノ往復
 書寫并ニ村松外一名ノ寄セタル書面ノ大意福井ノ
 記憶書取書一通次官ヨリ本官宛送セラレタリ小
 官ハ一月十八日此ノ公信ヲ接受シタルニ付再翌二十
 日村松坂本薬師寺三名ヲ召喚シテ取調ヲ開始シタ
 リ
 取調ノ要旨ハ先ツ各年十二月十七日嫌疑有之奏ヲ
 以テ彼等ニ對シテ入京禁止ノ處分ヲナシタル件ニ付キ
 爾再ヒ審問ヲ始ルルニ就キ各自誠實ナル陳述ヲ
 ナス可ク若シ不実ノ陳述ヲナスハ嚴罰ニ處ス
 可キ旨ヲ諭シテ彼等ヲシテ誓言ヲナワシメタル
 後本官ハ彼等ニ問フニ概要左ノ事ヲ次ラシタリ

MT

11214 00050

MT

11214 00049

其方等三人ノ者ハ各別又ハ連名ヲ以テ客年十一月
 三日附又ハ三日頃御里ニ到達ス可キ郵便ヲ以テ橋
 井友一ナル者ニ宛テ其方等ハ吾國ニ於テ或ル容易
 ハニサカシムル隱謀ヲ企テ居ル旨ヲ通信シタル事ナリ
 彼等ハ各此間ニ對シ既ニ昨年十二月招下書記生ノ取
 調ヲ受ケタル際ニ申答セル如ク決シテ斯様ノ事ナ
 キ旨ヲ答、且村柘ハ自分ノ日記帳ニ由リ其答弁ヲ
 確メタリ
 本官ハ次ニ彼等ノ記臆ヲ喚起セシメテ一層明晰ナル
 答ヲフカシムル為メ十一月十四日附送券附ノ信書
 ノ寫并ニ一月九日附送附ノ福井友一記臆書取書ニ
 就キ機密ニ與ヒス併ニ記臆喚起ノ端緒ト成ル可キ
 在朝鮮國仁川港 日本領事館
 ニ三ノ文句ヲ讀聞クセ精確ナル答ヲ求メタリニ彼等
 ハ前同様斯ハ覺ナリテ答マリ
 本官ハ次ニ右文書ハ三人中何人ノ手ニ成レルヤヲ取
 調フルノ必要ヲ感シ且福井友一記臆書未段ニ於テ
 固メ末々妻存一母之兄ハ意外ニ驚ク事
 を今月前ヨリ見ル如ク、文句ハ之ヲ確ム
 ル、端緒ナルヲ信シ所謂福井友一ノ書面中斯
 ル意外ノ文句アリタルニ白人中何人カ斯ル
 家情ヲ有スル乎ヲ詰問セルニ村柘忠確ハ斯ル
 家情ハ全ク自分ニ適合セザル旨ヲ答ヘタリ
 抑モ退韓命令ノ執行ニ就キテハ領事ハ絶対ノ認定ニ
 擁テ有テ敢テ内地各處ニ於テ採取セル証憑ヲ其傍
 採用スルヲナク又被命令者ニ向テ理由ヲ開陳ス

MT

11214 00052

MT

11214 00051

ルヲ無ク之ヲ命令シ又ハ命令セサルヲ得ルモノナ
レ氏該命令ノ結果ハ被命令者ノ居住移轉ノ自由
ヲ制限シ且其進路ニ向テ一大妨碍ヲ與フルモノ
レハ輕忽ニ執行ス可キモノニアラス本官ハ以テ火ニ
就キ故橋口領事ノ執レル方針ハ頗ル穩當ナルヲ信
スル故ニ本件ニ就ラモ可成精密ノ取調ヲナシ十分
ナル心証ヲ得ラ命令ヲ執行セシトモタリ而レテ前
述本官カ採レル處置ハ事件ノ真相ヲ穿ツニ最
モ必要ナルハ疑ブ可ラス純然タル刑事裁判ニ在
テハ機密ヲ保ツ為ノ公開ヲ避クル事アルモ抹殺
シタル事實ハ被告ノ被告人ニ暴露シタル審問ノ嫌疑ヲ確實ス
ルニ於テ欠ク可ラザル所ニシテ外務次官ニ於テ亦
此ノ裁判ニ對シテ被告ノ事件ニ對シテ機密ヲ保ツルニ必要ナキハ
モ前陳本件官ヨリ被シタル審問ノ嫌疑ヲ確實スルニ於テ欠ク可ラザル所ニシテ外務次官ニ於テ亦

在朝鮮國仁川港 日本領事館

十分ノ承認ヲ與ヘラル、一ヲ疑ハス而シテ大院君暗
殺ノ陰謀云々ヲ本官ヨリ招村等ニ公言シタリトハ
全ク妄誕ノ言ニシテ別紙証第四号ノ如ク村招ヨリ其
謬誤ナル上目ヲ誓証シタリ

前陳ノ如ク村招忠雄ノ家情ハ福井友一記臆書未
段ト符合スル故ニ次ニ本官ハ村招ニ向テ左ノ如ク
申附ケタリ

容易ナラザル陰謀ヲ企テ居ル旨ノ文書ヲ福井友
一ニ發送シタル當人ハ今ハ村招トリト推定スル
十分ノ理由アリ仍テ村招ハ自己ノ嫌疑ヲ免レニ
ニハ自ら進テ本官ヲ満足セシム可キ及証ヲ奉クル
事ヲ要ス則テ其ニ方法トシテ果シテ容易トラザル
陰謀ヲ企テ居ル旨ノ文書ヲ福井ニ於テ接手シタ

MT

11214 00054

MT

11214 00053

市令第百五十四号
小中略

ルヤ否ヤヲ問合セ其回答ヲ本官ニ呈出ス可シ
 右ノ命令ニ對シテ村招ハ敬承ノ旨ヲ答ヘ併ヤテ該文
 書原本ノ下示知ヲ請求セルニ付本官ハ一月九日附親展
 送第一号附別紙福井ヨリ大濱ニ宛テタル書面中ハ
 ソノトウリトマタニマシマシヤヤ井夕シツヤ
 一句ヲ読取カセ原本ハ福井ニ於テ火中セル旨ヲ
 申聞ケタリ
 爾後村招忠雄ハ本官ノ命ヲ奉ヒ一月二十日附テ
 以テ別紙第一号証ノ書面ヲ福井ニ寄セ二月一日附
 テ以テ福井ヨリ別紙第二号証ノ書面中ニ別紙第一
 三号并ニ第五号証ノ書面ヲ附シテ郵送セリ
 以上則テ本官カ取件ニ就キ採リタル處分ノ顛末ニ
 シテ依ラテ愛媛縣知事ノ申出、如ク密復ニ係ハ
 在朝鮮國仁川港 日本領事館
 此事件有、係本官ヨリ本人ニ漏洩シタル事實ヲ知
 ルニ足ル可ク又本官カ密復ニ係タル文書中ニ三ノ文句ヲ
 嫌疑者ニ讀取ケタルハ取調上最モ必要トノ行為ナルヲ
 以テ明ラカニスト信ス
 第二取調上生シタル疑義并ニ今後ノ處分、前陳取調ノ結
 果并ニ別紙第一号ヨリ第六号ニ至ル迄、証憑ニ依リ
 之ヲ判定スルハ坂本藥師寺兩名ハ此件ニ關係ナキ
 ハ勿論村招ニ至リテモ亦實際無実ノ嫌疑ヲ受ケケル
 ハマノ疑多ク却テ大濱ナル者ニ於テ不實ノ陳述ヲナ
 シタルニアラザルヤノ嫌疑アリ何トテハ
 第一第二号証福井ヨリ村招ニ送ラタル返信ニ概シハ
 十一月三日附又ハ今日宇和島ニ到着ス可キ郵便ヲ
 以テ村招ヨリ福井ニ宛タル書信(外務省客年

MT

11214 00056

MT

11214 00055

十一月十四日附機密第ニ七号別紙愛媛縣甲秘第
 四二九号ハ全ク捏造ノ文書ナル如シ唯第ニ号証、
 福井ノ返書中封入シタル第ニ号証村柁ノ書面未段
 ノ一句ハ所謂村柁ヨリ福井宛書面寫シ文句ト符合
 スル處アルモ素ヨリ陰謀ノ事實ヲ記セズ徒テ右書
 信ノ文意福井ノ記臆書(外務省一月九日附親展送
 第一号別紙)ト稱スルモノモ亦信ヲ措クニ足ラリ
 ル也シ

第ニ号証并ニ第ニ五号証ニ披ルハ十一月廿二月廿
 六日附福井ヨリ大濱ニ宛テタル書面(外務省一
 月九日附親展第一号別紙)ハ全ク大濱カ福井ヲ
 欺キテ認メシメタルモノナル如シ

第ニ三、第ニ六号証ニ披ルハ村柁ヨリ何等ノ向信ナ
 キニ大濱ハ特ニ書面ヲ同人ニ送りテ其宛ヲ雪クハ
 シト忠告シタリ即ケ大濱ハ村柁ニ向テ自身カ官
 廳ニ向テ申立タル事實ノ虚傳ナルヲ自白シタ
 ルモノナリ

(備考)第ニ六号証ハ客月二十日頃大濱ヨリ右様事
 実ヲ記載セル書面ヲ領シタルヲ申出テタリ
 シカ其後本官引籠ノ為ノ頃日ニ至ル迄面會スル
 ヲ得ス再昨日ニ至リ右書面呈出ヲ命セルニ原
 書ハ既ニ紛失シタレ氏文意ニ偽ナキ上第ニ四号
 証ノ如ク誓証シタリ猶ホ村柁ノ申立ニ由レハ大
 濱ハ書面ノ控ハ必ス取置クノ慣習ナレハ該書面
 ノ控モ必ス取置ケルヲナラント

第ニ四、愛媛縣甲秘第ニ五三三号中村柁ヨリ福井ニ同合

在朝鮮國仁川港

日本領事館

MT

11214 00058

MT

11214 00057

セタル文書ハ緊要ナル矣ニ於テ第一号証ト註語ス
前者ハ全体ニ於テ村柘等ハ其陰謀ヲ福井ニ通知シ
タルアル旨ヲ表シテ從テ福井ニ對シテハ何故ニ
友誼ヲ忘レテ其文書ヲ大瀆ニ示シタルヤヲ詰問ス
ルモノ、如シ後者ハ之ニ及ビテ爾テ斯ル書面ヲ殺
送セルヲナキモ福井ニ於テ受取りタルヤヲ問フ。
アリ此矛盾ハ大瀆ニ於テ先ニ呈出セル寫書ノ効力
ヲ増ツン為メニ故ニ事實ヲ変更セルニアラザル乎
ノ疑アリ

右等証憑上当然ニ出ツル嫌疑ノ外ニ左ノ事實ハ前陳
ノ嫌疑ニ加効スルモノ、如シ

第一大瀆ハ所謂村柘ヨリ福井ニ宛テタル書面ハ呈
大ナル結果ヲ生ス可キヲ知り且ツ後日何等必要ノ

在朝鮮國仁川港

日本領事館

場合ヲ生スヘキヲ知りナカラ特ニ福井ニ勸メラシ
ヲ大申セシメタリ(大瀆ヨリ福井ニ宛テタル十二月廿
六日附書面ニ詳カト)

第二先ニ既ニ書面寫ヲ呈出シ再ヒ無用ノ記憶書ヲ呈
出セリ而シテ兩文書ハ大院君陰謀ノ事實ニ於テ符合
スルモ大体ニ於テ著シキ差異アルヲ

第三樂師寺ト大瀆トハ殆ニト面識ナキノ間柄ナルニ以
事件アリテ以來大瀆ヨリ村柘死書面中屢々樂師寺ニ
向テ誦讀設ケ間敷傳言アリタルヲ

要スルニ本件ノ事實ハ嫌疑者密偵者間ノ申立全然註
語スルノミナラス大瀆ナル密偵者、申立ハ表裏相反
シテ最モ怪ム可キ嫌疑者ニ是レ柳モ本官ノ取調フル所
末十分ナラザルニ拠ル乎將タ大瀆ニ對スル其向ヲ取

MT

11214 00060

MT

11214 00059

調不十分ナルニ拠ル事本件ハ其事体最モ重要ニシテ
外務省ト當館ノ間電報信書、往復數回ニ且リ其結果
數月間人身ノ自由ヲ束縛スルニ至レリ連ニ之カ里
白ヲ判明スルハ最モ必要ノ事ト云ハラル可ラマ而シテ
今後取調ヲ繼續シテ其結果村柘等ノ申立不實ナル
ニ於テハ本官ハ當ニ偽誓其他ノ犯行ヲ以テ嚴罰ニ
彼等ヲ處分ス可ク之ニ及シテ大瀆ナル者果シテ
不實ノ陳述ヲナシテ村柘等ヲ誣告シタルニ於テハ
其向ニ於テ刑事犯人トシテ公訴ヲ提起スル、必要
アリ本官ハ其向ニ於テ速ニ嚴明ナル取調ヲ開始スル
コトヲ切望ス而シテ其向ニ於テ取調ヲ行フニ當リテハ
申述モナキ事ナレ片言ヲ聞テ事ヲ判定スルコト無
ク本報告附送スル所ノ証憑ニ拠リ大瀆福井ヲ對質シ
在朝鮮國仁川港 日本領事館
猶ホ關係人ヲ審問シ更ニ速ニ其結果ヲ回報セラレン
ヲ希望ス

右及回報矣也

明治二十九年三月二十三日

在仁川

領事館事務代理領事官補萩原守一



外務次官原敬 啟

追而左ノ目錄ノ通り別紙及御送付矣也

第一号証 一月二十日附村柘ヨリ福井ニ送テタル書面

第二号証 右書面ニ対スル福井ノ回答

第三号証 第二号証中封中ノ村柘ヨリ福井ニ送タル書面

MT

11214 00062

MT

11214 00061

第四号証 村招忠雄ノ誓証

第五号証 第二号証中封中ノ大漢カ福井ニ認メカテ依

取ミタル大漢内事ノ雛形

第六号証 大漢ヨリ村招ニ送リタル書面ノ大意

在朝鮮國仁川港

日本領事館

MT

11214 00063

REEL No. 1-0064

0342

別紙

自牙書字至牙六号

仁川来行機密文十号附録

証憑書存在中

密書共六冊牙使子直物後并
廿九年九月廿四日

第九號七月廿八日發
主權通商局

極密才二五号

村松忠雄之係ハル密偵ノ件

本件之関シテハ昨年十一月以来原前次
官ヲ經テ愛媛縣知事ト屢次交渉致
来リ最後ニ本年三月二十三日附極
密才一ノ号ヲ以テ本官ヨリ精廻
被致シ置中且取調ニ出シタル疑義并
ニ今後ノ處分ト致スル項ニ関シテハ
特ニ其向ニ於テ速ニ精確ナル取調ヲ開
始セラレ其結果更ニ本官ノ知照被及
度被内務省警保局長ニ取調方証
憑六通ヲ附シ申進致及爾来四月
ノ經凡モ来夕愛媛縣知事ノ照復ニ

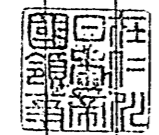
在朝鮮國仁川港

日本領事館

接セス嫌疑者ハ依然移轉、自由ヲ束縛
セラレ不都合不十分ニ付乍而側更ニ
日知知事、内督使友申及被致日
ワ添送致及証憑六通ハ右回被近ニ
申ニ陳述致及通リ本人ノ預リ証ヲ与
ニ徵收致及モノニ付速ニ返附方申
及被併ニ日知知事、内照會ヲ申及
此没及所依新致及日
明治三十九年七月十日

在仁川

飲中致申被致及中右酒辰尔号



外務大臣少村壽吉印發

二八八

MT

11214

00065

MT

11214

00064

REEL No. 1-0064

0344

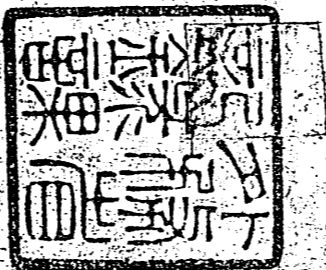
参考

REEL No. 1-0064

0345

朝鮮大院君邸内於火藥
爆發事件

年



明治廿五年

五七三

朝鮮大院君邸内於火藥爆發事件

REEL No. 1-0064

0347